

## 2019(令和元)年度 第1回コンクリート委員会・第3回コンクリート常任委員会議事録

日 時：2019年9月2日（月）14時00分～17時00分

場 所：ホテルクレメント高松 玉藻

出席者：下村委員長，加藤幹事長，石橋，魚本，前川，宮川の各顧問，綾野，石田，岩城，上田（隆），上田（多），氏家，内田，鎌田，河合，河野，小林，齊藤（成），佐藤，菅俣，田中，谷村，中村，名倉，二井谷，二羽，濱田（秀），原田（修），細田，本間，松田，丸屋，宮里，森川，山口，横田の各常任委員，梅村，春日，斎藤（豪），島，橋本，濱田（讓）の各委員，大内，古市，山路，山本の各委員兼幹事，伊代田，渡邊の各オブザーバー，小川（事務局）

配付資料：

- 3-0 2019(令和元)年度 第3回 コンクリート常任委員会 議事次第
- 3-1 2019(令和元)年度 第2回コンクリート常任委員会議事録（案）
- 3-2 コンクリート委員会活動報告（第一種・第二種）
- 3-3 コンクリート委員会活動報告（第三種）
- 3-4 示方書改訂小委員会・委員構成
- 3-5 102 規準関連小委員会・委員構成
- 3-6 201 教育研究委員会・委員構成
- 3-7 207 国際関連小委員会・委員構成
- 3-8 鉄筋定着・継手指針改訂小委員会・委員構成
- 3-9 鉄筋定着・継手指針改訂の概要
- 3-10 電気化学的防食工法指針改訂の概要
- 3-11 2019年度コンクリート委員会 一般会計 予算執行状況
- 3-12 359 コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会・委員構成
- 3-13 360 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの品質・性能評価に関する調査研究小委員会・委員構成
- 3-14 361 土木分野におけるジオポリマー技術の実用化推進のための研究小委員会・委員構成  
番号なし Conmat'20 Call for papers

議 事：

### 1. 委員長挨拶

下村委員長より，第3回常任委員会開催にあたっての挨拶があった。主な内容は以下の通り。  
・現在は示方書の改訂作業が終わったばかりで，中長期的な戦略を練ることができる時期である。  
また，現行の示方書の活用も検討中である。ご協力をお願いしたい。

### 2. 委員の自己紹介

全委員から簡単な自己紹介があった。

### 3. 2019年度 第2回コンクリート常任委員会議事録（案）の確認

山本幹事より，前回常任委員会の議事録（案）（資料3-1）の確認があり，異議なく承認された。  
・示方書の電子化の進捗状況についての確認があり，「古市幹事を中心に検討中」との回答が下村委員長からなされた。

### 4. 第1種委員会の活動について（資料3-2）

下村委員長から説明がなされた。

### 5. 第2種委員会の活動について（資料3-2）

下村委員長から説明がなされた。

### 6. 第3種委員会の活動について（資料3-3）

加藤幹事長から説明がなされた。

## 審議事項：

### 1. 第1・2種委員会の委員構成

下村委員長から以下の委員会について、委員交代等についての説明があった。

#### (1) 示方書改訂小委員会（資料3-4）

委員構成について説明があり、異議なく承認された。

#### (2) 規準関連小委員会（資料3-5）

委員構成の変更案について説明があり、異議なく承認された。

#### (3) コンクリート教育研究小委員会（資料3-6）

委員構成の変更案について説明があり、異議なく承認された。

#### (4) 国際関連小委員会（資料3-7）

委員構成の変更案について説明があり、異議なく承認された。

#### (5) 鉄筋定着・継手指針改訂小委員会 変更（資料3-8）

委員構成の変更案について説明があり、異議なく承認された。

### 2. コンクリートライブラリーの審議

#### (1) 鉄筋定着・継手指針（資料3-9）

古市幹事より説明があり、以下の議論があった。また、現在も修正中であり、近日中に最終版をウェブファイルマネージャにアップするとの報告があった。

・照査フローにおいて、まず継手部の特性・構造細目の設定などを実施するようにしているが、現実的か？

→（回答）現案のフローでは、高度な検討方法と現実的な方法に書き分けようとしている。新たな継手を実施する場合は、構造細目等は設定する必要があると考えている。

・検査がごまかせないようなものにしてほしい。

→（回答）意向は理解したので議論する。

#### (2) 電気化学的防食工法 設計施工指針(案)（資料3-10）

濱田委員、山口委員より説明があり、以下の議論があった。

・「工法特有の維持管理計画」という言葉に変えた主旨は？ 「計画」は無くてもいいのでは。  
→（回答）計画を立案し、維持管理の具体的な実施は示方書維持管理編に従うこととした。

・特殊な内容は示方書維持管理編では結局扱えないので、この指針で扱った方が良いのでは。  
→（回答）特有の維持管理計画を立案することとしているが、構成については再考する。

・「補修補強標準」は、本指針の中に掲載する必要があるのか？

→（回答）現状の「補修補強標準」に「電気化学的防食工法」が入っていないので追記が必要。

これに対し、齊藤（成）委員より、「補修補強標準は維持管理の基本的な流れと個別の補修補強工法とをつなぐものとして作られた。そのようなものは現状では存在していない」との意見があった。

・補修補強に関する指針が作られるたびに、更新された「補修補強標準」が各指針に掲載されるのはわかりにくい。最新版を土木学会HPにアップした方がよいのでは。

これに対し、下村委員長より「今後検討する」との意見があった。

・脱塩工法に関して、適用後の腐食発生限界塩分濃度を $2.5\text{kg/m}^3$ とした根拠は？

→（回答）前回の指針では、 $1.2\sim 2.5\text{kg/m}^3$ と幅を持って設定していた。今回、脱塩適用後のpH増加のメリットを含めた数値を設定した。実際に、pHは13.6程度まで上がる。計算上、 $3.0\text{kg/m}^3$ 程度までは許容範囲となる。適用後の表面被覆も標準としており、危険な値ではないと判断した。

・pHは継続的に上がったままなのか？ 安全しるを加味した方がよい。

→（回答）通電直後であれば $2.5\text{kg/m}^3$ でよいとした。なお、pHの保持も維持管理の中で確認することを前提としている。

- ・断面修復工法に期待する効果に、「力学的性能の回復」とあるが本当か？  
→（回答）本文中の書き方を再度確認する。
  - ・電気防食工法の防食効果の確認時において、「PC鋼材の電位」はどの位置で測るのか？ コンクリートの品質が悪い箇所でも測っても意味がない。  
→（回答）具体的に記載する
3. 出版企画の募集について（資料無し）  
申請するものは特に無い，と加藤幹事長から説明があった。

**報告事項：**

1. 2019 年度コンクリート委員会予算執行状況（資料3-11）

加藤幹事長から説明がなされ，特に意見はなかった。

2. 第3種委員会の委員構成

- (1) コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会（359委員会）（資料3-12）  
山本幹事より委員構成について報告があった。
- (2) 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの品質・性能評価に関する調査研究小委員会（360委員会）（資料3-13）  
山本幹事より委員構成について報告があった。
- (3) 土木分野におけるジオポリマー技術の実用化推進のための研究小委員会（361委員会）（資料3-14）  
山本幹事より委員構成について報告があった。

3. 報告会・講習会の開催案内および報告

山本幹事から以下の説明がなされた。

- (1) コンクリート構造物の養生効果の定量的評価と各種養生技術に関する研究小委員会  
9月13日に成果報告会+シンポジウムを開催するが残席はわずかである。
- (2) 亜鉛めっき鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計・施工指針（案）改訂報告会（東京）  
各会場の参加者は東京（7月30日：54名），大阪（8月29日：41名）。

4. その他

- ・小林委員から CONMAT2020 の案内がなされ，アブストラクトの〆切を9月30日まで延期したとの報告がなされた。
- ・石橋委員から，示方書の出版の売り上げの最近の動向についての質問があり，下村委員長より「正確なデータは手元にないが全体として減少傾向にある。示方書本体の販売だけに頼らず収入を増やしたいと考えている。」との回答があった。

**次回開催：**

山本幹事より，11月21日（木）14：00～17：00 土木学会講堂 で開催予定であることが報告された。議題がある場合は11月5日（火）までに幹事団に提出する。

以上【記録 山路 徹】